

市内文化財、史跡山中城跡維持管理事業

アナ： 「市長が語る 2024 三島」第 22 回の今日は、「市内文化財、
史跡山中城跡維持管理事業」についてお話を伺います。
豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 「文化財」といいますと、お寺や神社が真っ先に思い浮かびますが、
三島市内の文化財にはどのようなものがあるのでしょうか。

市長： 三島市内の代表的な文化財としては、山中城跡や向山古墳群、三嶋大社の
宝物（ほうもつ）や本殿などがございますが、これらは、国や県が高い価値を
認めた遺跡や、国宝・重要文化財などに指定されている特に重要なものです。
従来、文化財行政といいますと、こうした特別なものを保存することが
中心でしたが、最近ではそれに加えて、活用ということも重視しております。

アナ： 文化財の活用ということですが、具体的にはどのようなことをするのしょう
か。

市長： 例えば、文化財が傷ついたり壊れたりしないような対策を講じた上で、博物館
や美術館で展示を行い、皆様に鑑賞してもらうことや、市指定文化財の楽寿館を
実際に使用して映画の撮影を行ったり、国の有形登録文化財の梅御殿でお茶会を
開催することなどが挙げられます。

こうした文化財の保存・活用に関する総合的な計画として、
「三島市文化財保存活用地域計画」を策定しているところでございます。

アナ： この計画はどのような目的でつくられているのでしょうか。

市長： この計画では、法律に定められた指定文化財だけでなく、地域の方が
地域の歴史や文化を知る上で欠かせないと考えるものや、次世代へ
引き継いでいきたいと考えるものを広く文化財と捉えることで、市内全域の
歴史・文化などに関心をもつていただき、文化財を活かしたまちづくりに
つなげていくことを目的としております。

アナ： 完成はいつ頃になるのでしょうか。

市長： 現在、協議会やワークショップでのご意見を踏まえて原案を作成し、
文化庁に内容の確認をお願いしておりまして、今年度中に
認定をいただき、来年度から計画をスタートさせたいと考えております。
そして、地域総がかりで文化財の保存・活用と、そのための体制づくりを図り、
地域の大切な宝である文化財を円滑に次世代に継承してまいりたいと考えて
おります。

アナ： 文化財は本当に地域の大切な宝ですよね。
活用も考えながら、しっかりと次世代に引き継いで欲しいと思います。

ところで、先ほどお話に出てきました山中城跡ですが、過去に台風などの大雨で一部被害を受けたと聞きました。

市長： 令和元年10月の台風と令和3年7月の大雨の際、障子堀という遺跡の一部が崩れるなどの被害を受けました。

そこで現在、このような被害を未然に防ぐための排水施設を新たに整備するなど、より災害に強い遺跡とするための復旧工事を行っております。

アナ： 復旧にはどのくらいかかりそうですか。

市長： 工事全体につきましては、令和8年度の完成を目指しておりますが、今年度は、崩れた堀の法面の復旧と排水路の工事を行うこととしております。

アナ： 文化財を維持管理していくのは、本当に大変なことですね。

市長： 今回の工事につきましては、文化庁と静岡県から補助金をいただくことができましたので、それを活用して確実に復旧していきたいと考えております。

文化財を守り、次の世代に確実に伝えていくためには、皆様のご理解とご支援をいただくことが大変重要でございますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。